



2019年10月31日 木曜日
(令和元年)

「何のために働くか」

働き方改革で視察研修

埼玉版 ウーマノミクス
女性活躍推進

働き方改革に取り組み先進企業を視察するバスツアーが29日に行われ、企業の経営者ら31人が新座市の増木工業（増田敏政社長）、所沢市の井口一世（井口一世社長）を訪問した。県が主催する研修の2回目。各企業による講演のほか、活発な意見交換をし

た。

建設業の増木工業は、仕事と育児の両立の難しさや施工管理職の長時間労働を解決しようと、親子で出勤できる制度やIT化による現場社員の負担減、県外の事業拠点設置などに取り組んでいる。増田社長は「働き方改革はトップ次第。何のために働くのか」という視点が大切」と講演し、「共に育つ」という考えから、

増木工業の社内を見学する参加者ら120日前、新座市



社員のキャリアプラン作りや研修にも力を入れていることを紹介した。参加者は、社員による説明を聞きながら職場を見学した。
精密板金加工業の井口一世は、女性管理職の割合が半数以上。齊藤聡子執行役員は、仕

事に前向きかどうかを採用試験などで判断した結果、女性が多くなった」と話し、「働きやすいのは、全員が多様な職種を経験するマルチスキルワーカーだからこそ。育児や急な事態にも対応できる」と説明した。

社内SNSを利用した「残業の見える化」やスキルアップによる昇給なども紹介。参加者から「やる気や高い質をなぜ維持できるのか」と質問が出ると、社員から「未経験でも学ぶ機会があるから。相談しやすい。知識を得ようとする仲間に、自分も引上げられる」と声が上がった。

第3回は11月19日に石坂産業（三芳町）で行われる。問い合わせは、事務局（☎048・795・9982）へ。

（立石陽子）